

【事務事業シート】

1

当初

事 項	旅券事務市町権限移譲事務費								予算主管課		観光国際課	
事 業 概 要	市町に権限移譲している旅券事務について、市町旅券窓口の機器の保守委託料や人件費等の経費を交付するとともに、市町指導等を行い移譲事務の円滑な推進を図る。								始期		1945	
									終期			
K P I	市町窓口における旅券発給申請件数等（県民千人当たり）											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度	目標値	14 件/千人	目標値	16 件/千人	目標値	18 件/千人	目標値	20 件/千人		
	実績値	6.7 件/千人	実績値	15.4 件/千人	実績値	18.8 件/千人	実績値	件/千人	実績値	件/千人		
	ストック/フロー	フロー	達成率	110 %	達成率	117.5 %	達成率	%	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計	18,671 千円	最終現計	13,716 千円	最終現計	千円	最終現計	千円		
決算額			18,070 千円	決算額	12,818 千円	決算額	千円	決算額	千円			

6
年
度

要因分析	要因											
	総括											
見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績も想定を上回る結果となっていることに加え、7年度はオンライン申請の対象拡大により、KPIは目標を達成する可能性が高いことから7年度においても事業制度の見直しは想定しておらず、現行制度に基づく8年度予算の見直しは想定していない。										

2

当初

事 項	松山空港魅力向上支援事業費								予算主管課		観光国際課	
事 業 概 要	松山空港において、賑わいや愛媛らしさがあふれる空間の創出に取り組む経費を補助する。								始期		2022	
									終期			
K P I	松山空港魅力度											
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度	目標値	3.9 点	目標値	4 点	目標値	4.3 点	目標値	4.5 点		
	実績値	- 点	実績値	3.9 点	実績値	3.9 点	実績値	点	実績値	点		
	ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	97.5 %	達成率	%	達成率	%		
	コ ス ト		最終現計	3,093 千円	最終現計	1,600 千円	最終現計	千円	最終現計	千円		
決算額			1,631 千円	決算額	998 千円	決算額	千円	決算額	千円			

6
年
度

要因分析	要因 空港利用者増に伴い頻繁に発生した駐車場混雑等の影響により目標を下回った。											
	総括											
見直し方向性	維持	令和6年度の松山空港利用者数はコロナ禍前程度まで回復しており、今後も更なる利用者増が見込まれることから、利用者の利便性向上につながる本事業による施設整備はKPI向上が期待できる。										

3

当初	事 項	松山空港国際線利用促進事業費								予算主管課		観光国際課			
	事 業 概 要	松山空港国際線の利用促進に向け、官民一体となった取組みを展開する。								始期		1991			
										終期					
K P I	松山空港に就航する国際線の増便数														
	KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度						
	R 4 年 度		目標値	7 便		目標値	21 便		目標値	22 便		目標値	22 便		
	実績値	5 便		実績値	7 便		実績値	15 便		実績値	便		実績値	便	
	ストック /フロー	ストック	達成率	171.43 %		達成率	71.4 %		達成率	%		達成率	%		
	コ ス ト		最終現計 予算額	1,387 千円		最終現計 予算額	1,248 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	1,387 千円		決算額	1,248 千円		決算額	千円		決算額	千円		
6 年 度	要因分析	要因 上海線の再開に時間を要したこと及びエアブサンの機材繰りによって週6便から週3便に減便したものによる。 目標値は、R6年度ソウル線・釜山線の増便分（10便）を追加したため、目標値が10便増加したもの。													
		総括													
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は目標を下回っているものの、7年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度の予算の見直しは想定していない。												

4

当初,6 月補 正,9月 補正	事 項	松山空港国際化支援事業費								予算主管課		観光国際課		
	事 業 概 要	松山空港国際線を維持するため、松山空港ビル（株）が航空会社に対して行った空港施設使用料等の助成相当額を補助する。								始期		1998		
										終期				
K P I	着陸料等起因して減便や運休となった国際線の便数													
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度	目標値	0 便		目標値	0 便		目標値	0 便				
	実績値	0 便		実績値	0 便		実績値	0 便		実績値	0 便			
	ストック /フロー	フロー		達成率	100 %		達成率	100 %		達成率	%			
	コ ス ト		最終現計 予算額	92,440 千円		最終現計 予算額	364,760 千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円	
			決算額	75,888 千円		決算額	361,038 千円		決算額	千円		決算額	千円	
6 年 度	要因分析	要因												
		総括												
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、7年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度の予算の見直しは想定していない。											

5

当初

事 項	ベトナム定期航空路線誘致促進事業費							予算主管課		観光国際課		
事 業 概 要	ベトナム線開設に向け、同国での観光プロモーションや県内視察ツアーを実施するとともに、インバウンドチャーター便の運航を支援するなど、本県の認知度向上と需要開拓に取り組む。							始期	2023			
								終期	2025			
K P I	松山空港チャーター便の年間利用者数											
	KPI種別	上がるの良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	1506 人		目標値	1080 人		目標値	1080 人		
	実績値	335 人		実績値	623 人		実績値	621 人		実績値	人	
	ストック /フロー	フロー		達成率	41.37 %		達成率	57.5 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	71,357 千円		最終現計 予算額	52,944 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額				53,908 千円		決算額	23,578 千円		決算額	千円		

6
年
度

要因分析

要因

インバウンド連続チャーター便を6回実施する計画としていたものの、旅行会社との調整の結果、イン・アウト双方向チャーター便1回の運航に留まったため、未達成となった。

総括

見直し方向性

維持

6年度の目標達成率は低調であったものの、本事業はベトナムとの定期航空路線開設に向け、現地での本県の認知度向上やチャーター便の運航実績を積み重ねるために実施するものであることから、成果向上に向けて引き続き取り組む。

6

当初、6
月補
正、9月
補正

事 項

松山空港国際線活性化事業費

予算主管課

観光国際課

事 業
概 要

上海線の早期再開に向け、現地でのプロモーションや知事トップセールスなどを行うほか、ソウル線、台北線、釜山線について、インバウンド・アウトバウンドの双方で、各種の利用促進やプロモーションを実施する。

始期

2022

終期

2025

K P I

松山空港に就航する国際線（定期便）の年間の利用者数

KPI種別

上がるの良い指標

R 5 年 度

R 6 年 度

R 7 年 度

R 8 年 度

R 4 年 度

目標値

11.8 万人

目標値

33.3 万人

目標値

41 万人

目標値

41 万人

実績値

- 万人

実績値

12.6 万人

実績値

32.2 万人

実績値

万人

実績値

万人

ストック
/フロー

フロー

達成率

106.8 %

達成率

96.7 %

達成率

%

達成率

%

コ ス ト

最終現計
予算額

311,573 千円

最終現計
予算額

1,085,396 千円

最終現計
予算額

千円

最終現計
予算額

千円

決算額

297,557 千円

決算額

776,072 千円

決算額

千円

決算額

千円

6
年
度

要因分析

要因

上海線の再開に時間を要したことによる。

総括

見直し方向性

維持

6年度の実績は概ね想定どおりの成果が出ており、7年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度の予算の見直しは想定していない。

